



# 今、ここ

めがす子どもの姿 ~ やさしく かしこく たくましく ~  
「合言葉」 わたしが主人公 一人ひとりが主人公

令和3年6月29日 第4号  
銭座小学校 校長 丸山朋子

## ○長崎っ子の心を見つめる教育週間

6月21日(月)から6月25日(金)まで、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を実施しました。

皆様には、参観者分散の観点から様々なお願いをいたしました。ご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、学校では、この週間にあわせて、月の生活目標を「相手のことを考えて行動しよう」、6・7月のリボンのテーマを「大切ないのちを見つめよう」と設定し、

さらに、子どもたちが話し合っ  
「学年・学級のめあて」を立てて取りくんできました。

### 【6月：各学級の生活目標】

- ・1年生：あいてにこえをかけて、きもちをきいて、いっしょにこうしよう。
- ・2年生：あいてのきもちをかんがえて こえをかけよう。
- ・3年生：相手がいやになる言葉を言わずにフワフワ言葉をつかおう。
- ・4年生：自分も相手もきずつかない行動をしよう。
- ・5年生：だれに対しても思いやりの気持ちをもち笑顔になるようにしよう。
- ・6年生：めがせ 3Bzero  
3B… Bougen(ぼうげん)  
Bouryoku(ぼうりよく)  
Boukannsy(ぼうかんしゃ)
- ・にじくみ、ほしぐみ：じゅぎょうがはじまったら、せきについておく。



### 【6・7月：各学年のリボンのテーマ】

- ・1年生：みんなのいのち ひとりひとりじぶんの ころを たいせつにする。
- ・2年生：いのちはひとつ。ひとりひとりのいのちをたいせつにしよう。
- ・3年生：自分のいのちや友だちのいのちについて 考えて行動しよう。
- ・4年生：一つ一つの命を大切にしよう。
- ・5年生：たくさんの人と一日一日を大切に過ごそう。
- ・6年生：ごはんを残さず食べよう。

生活目標

各学年のリボンのめあて

「生きること」「いのち」「食＝いきものの命をいただくこと」「人間」「自分、友だち」・・・、子どものみならず、大人にとっても、永遠の課題、深い問いです。

「見つめること、言葉にすること、考え・行動すること」を繰り返しながら、学びを続けていきます。

## 「言葉の力」を見つめる

私たちは、様々な「ひと・もの・こと」とかかわりながら日々を過ごしており、かかわる中で、喜びや楽しさ、悲しみや怒りなどの感情を得ます。

特に、言葉を介した人とのかかわりは、その日の幸福感を決定づけるほどの影響力をもちます。

教育週間中、「言葉の力」、特に、自分が発する言葉(自己表現)について、私が以前、担任をしていた学級での出来事を例に挙げて話をしました。

この中で、言葉をどう使うかで、自分も相手も大切にできることを伝えました。

ポイントは【アイ メッセージ】で伝えるということ。「あなたが…」ではなく「わたし」を、主語にして自分の素直な気持ちを伝えます。



例えば、順番待ちの場面で割り込まれたとします。例：①わたしは、ブランコの順番を並んで

待っていたから、間に入られて(事実)。

②びっくりしたよ・腹が立ったよ(感情)。

③順番を守って、楽しく遊ぼう。(提案・願い)

※「あなたはずるい」「あなたは何で割り込んでくるんだ」等は「ユー(あなた)メッセージ」です。

私たちは、「こうあってほしい」と相手に期待し、期待通りでないとき驚きや、悲しみ、怒り等を感じる事が多くあります。そんな時、相手を攻撃するか、自分を抑え込むか、相手も自分も大切にしながらかかわっていくか、選択するのは自分です。

言葉を通したコミュニケーション力は、人の中であって生きていくための力となります。



## ○主人公たちの姿

朝、草取りをしていると、3年生の子どもたち数名がやってきて、加わってくれました。「見て、根っこが長いですよ」「あっ、アリだ」「あ、小っちゃい貝殻だ」と楽しい時間です。

先週は、朝から日差しも強く、時折吹く風に「ああ涼しい、気持ちがいいね」とご褒美をいただいたように感じました。

運動場から校舎に戻る途中、5年生が、「あの辺に、お菓子の袋が落ちていますよ」と知らせてくれました。そして、拾ってくれました。

あいさつ運動、学校周りのゴミ拾い、コイのえさやり、花壇への水やり、朝顔、ミニトマト、畑のいもへの水やり、運動場で遊ぶこと、靴箱に向かい・教室をめがすこと等々、それぞれが、思い思いに朝の時間を過ごします。

今日も1日が始まることに「感謝」です。

もしも、目に見えない言葉が見えたりしたら

作者不詳

言葉は、人の心を、傷つけたり、悲しくさせたり重くしたりするのに、目には見えない。  
言葉は、人の心を温かくしたり、軽くしたり熱くしたりするのに、目には見えない。  
言葉は、人の心を動かしたり、変えたりする道具。なのに目には見えない。

目に見えない言葉だから、人は簡単に人の心を傷つけるのかな。  
目に見えない言葉だから、人は人の心を傷つけても平気なのかな。  
目に見えない言葉だから、人は人の言葉が怖いのかな。

目に見えない言葉だけど、心をぽあっとあたたかくしてくれる。  
目に見えない言葉だけど、心をふんわり軽くしてくれる。  
目に見えない言葉だけど、心をぐんと広げてくれる。

もしも、言葉が見えたとしたらどんな形、どんな色。  
「遊びに入れて」に「無理」と応える言葉は、  
断ち切る言葉。はさみの形、まっくろ黒。  
「きもい」「死ね」は、  
突き刺す言葉。鋭くとがった針の形、銀ぎら銀ぎら。  
「はげ」「めがねざる」は、  
押しつぶす言葉。ハンマーの形、どんより鈍い鉛色。  
「おはよう」「さようなら」は、  
つながる言葉。握手の形、レインボーカラー。  
「どうしたの、一緒に遊ぼう」は、  
心が軽くなる言葉。風船の形、黄色、空色、リンゴ色  
「ありがとう」「ごめん」は、  
心に明かりがつく言葉。リボン色、ピンク、水色、ミカン色。

もしも言葉が、布を裁ち切るはさみのように、人の心を断ち切るのが見えたとしたら、  
もしも言葉が、注射針のように、人の心に刺さるのが見えたとしたら、  
それでも人は、簡単に「無理」「死ね」「はげ」というのだろうか。

もしも言葉が、空にかかる虹のように、心と心をつなぐのが見えたとしたら、  
もしも言葉が、風船のように、人の心をふわっと、軽くするのが見えたとしたら、  
人は、もっと、「おはよう」「一緒に遊ぼう」「ありがとう」と言えるのだろうか。  
人は、もっと、「おはよう」「一緒に遊ぼう」「ありがとう」と言えるのだろうか。

言葉は心 心は言葉 言葉は自分 言葉はあなた  
もしも、目には見えない言葉がみえたとしたら

人の言葉は変えられるだろうか。  
人の言葉は変えられるだろうか。

わたしは あなたは 人間は



宮城県宮城郡松島町教育委員会のホームページで紹介されていた詩です。